

# 総合評価方式の試行状況について

資料3-1

## 対象工事…平成20年4～12月まで契約分

項 目	H19(参考)			H20				備 考	試 行 結 果
	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計		
試行件数(件)	67	17	84	155	167	28	350		
低入札価格調査制度適用	65	17	82	148	152	18	318		
施工体制事前提出方式	2	0	2	7	15	10	32		
落札率(%)									・総合評価方式と条件付一般競争入札と比べると、平均落札率は同程度である。
平均	82.24	80.60	81.91	82.80	83.69	84.23	83.34		
最大	100.00	93.26	100.00	99.28	99.93	91.31	99.93		
最小	70.21	74.21	70.21	73.29	75.83	79.29	73.29		
※条件付一般競争入札の平均			82.33				83.45		
平均落札率(%)									・施工体制事前提出方式の方が、平均落札率はやや高い。
低入札価格調査制度適用	82.11	80.60	81.79	82.64	83.48	84.52	83.15		
施工体制事前提出方式	86.49	—	86.49	86.27	85.87	83.70	85.28		
入札参加者数(者)									・平均入札参加者数は、条件付一般競争入札と比べて少ない。
平均	6.5	6.7	6.5	5.5	4.9	6.4	5.3		
最大	17	14	17	17	15	22	22		
最小	1	2	1	1	1	1	1		
※条件付一般競争入札の平均			6.7				7.3		
平均入札参加者数(者)									・施工体制事前提出方式の方が、入札参加者は少ない。
低入札価格調査制度適用	6.5	6.7	6.5	5.6	5.0	7.1	5.4		
施工体制事前提出方式	7.0	—	7.0	5.4	3.8	5.2	4.6		
加算点(点)	簡易(10点)	標準(20点)	標準(30点)	特別簡易(10点)	簡易(30点)	標準(50点)			・加算点の平均値は、満点の半分程度である。
平均	4.5	8.8	13.9	6.4	15.5	21.3			
最大	9.1	18.8	26.3	10.0	28.0	46.0			
最小	0.5	1.1	1.1	0.0	0.0	3.0			

# 総合評価方式の試行状況について

資料3-1

## 対象工事…平成20年4～12月まで契約分

項 目	H19(参考)			H20				備 考	試 行 結 果
	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計		
価格逆転件数(件)									
件 数	14	9	23	71	93	19	183	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格が1位以外で落札者となった案件。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・逆転件数割合は半分程度である。</li> <li>・特別簡易型の逆転割合が最も低い。</li> </ul>
逆転件数/試行件数(%)	20.9%	52.9%	27.4%	45.8%	55.7%	67.9%	52.3%		
落札者の状況(件)									
価格:加算点=1位:1位	37	6	43	65	63	9	137	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格、加算点とも1位の工事は137件で、割合は39%である。</li> <li>・価格が1位の工事は167件で、割合は48%である。</li> <li>・加算点が1位の工事は280件で、割合は80%である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格、加算点とも1位の工事は137件で、割合は39%である。</li> <li>・価格が1位の工事は167件で、割合は48%である。</li> <li>・加算点が1位の工事は280件で、割合は80%である。</li> </ul>
価格:加算点=1位:2位以下	16	2	18	19	11	0	30		
価格:加算点=2位以下:1位	11	9	20	56	69	18	143		
価格、加算点ともに1位以外	3	0	3	15	24	1	40		
評価基準価格を下回った件数(件)									
件数	16	10	26	63	73	16	152	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札額が評価基準価格を下回った場合、入札額ではなく評価基準価格で評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準価格設定型適用件数の割合は約43%であり、H19よりやや高い。</li> <li>・落札者逆転割合は約20%であり、H19と同程度である。</li> </ul>
件数/試行件数(%)	29.6%	62.5%	37.1%	40.6%	43.7%	57.1%	43.4%		
うち落札者逆転	4	2	6	23	5	2	30		
落札者逆転件数/件数(%)	25.0%	20.0%	23.1%	36.5%	6.8%	12.5%	19.7%		
低入札価格調査の対象件数(件)									
基準を下回った低入札案件	15	7	22	27	24	3	54	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札対策として配置技術者の複数配置等を義務づけているが、対応困難の場合、落札者決定前の辞退を認めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札価格調査対象の発生割合は、H19より低下している。</li> <li>・調査を実施して契約した案件の発生割合は、H19より低下している。</li> </ul>
低入札件数/対象件数(%)	23.1%	41.2%	26.8%	18.2%	15.8%	16.7%	17.0%		
失格基準該当	/	/	/	9	5	0	14		
辞退	/	/	/	8	3	0	11		
低入札調査実施	15	7	22	15	17	3	35		
低入札調査で失格	0	0	0	0	2	0	2		
調査を実施して契約した割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	55.6%	62.5%	100.0%	61.1%		

# 総合評価方式の試行状況について

資料3-1

## 対象工事…平成20年4～12月まで契約分

項 目	H19(参考)			H20				備 考	試 行 結 果	
	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計			
失格基準に該当した工事件数(件)									・失格基準に該当し、失格者の出た工事の割合は、約12%である。 ・失格になる割合は、特別簡易型が多い。	
低入札価格調査制度	/	/	/	23	10	1	34			
施工体制事前提出方式	/	/	/	1	6	1	8			
上記合計	/	/	/	24	16	2	42			
上記合計/試行件数(%)	/	/	/	15.5%	9.6%	7.1%	12.0%			
評価項目毎の入札参加者得点割合(%)								○配点は簡易型の例(30点満点)		
企業の技術力	施工能力(1点)	76%	36%	67%	78%	80%	80%	79%	・施工能力、工事成績、品質管理の得点割合は、70%以上と高い。	
	工事成績(1点)	75%	59%	71%	67%	76%	70%	71%		
	優良工事(1点)	27%	34%	28%	9%	18%	21%	14%		
	品質管理(1点)	70%	89%	74%	/	66%	90%	71%		
	技術者確保数(1点)	45%	40%	44%	/	42%	42%	42%		
	技能士(0.5点)	/	/	/	/	8%	8%	8%		上記で得点できない場合
○H20小計(5点)										
配置技術者の技術力	施工能力(1点)	40%	15%	35%	/	52%	62%	53%	・評価方法の変更に伴い、資格保有年数の得点割合は、H19より高まった。	
	工事成績(1点)	50%	42%	48%	/	41%	35%	40%		
	資格保有年数(1点)	18%	27%	20%	/	61%	70%	63%		H19:20年 H20:10年
	優良工事(1点)	10%	13%	11%	/	6%	6%	6%		
	○H20小計(4点)									
企業の地域社会に対する貢献度	障がい者雇用(0.5点)	20%	34%	22%	/	28%	38%	30%		
	安全管理(0.5点)	48%	74%	52%	/	40%	58%	44%		
	環境配慮(0.5点)	12%	28%	16%	/	16%	36%	20%		

# 総合評価方式の試行状況について

資料3-1

## 対象工事…平成20年4～12月まで契約分

項目	H19(参考)			H20				備考	試行結果
	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計		
企業の地域社会に対する貢献度	県内業者活用(1点)					94%	54%	86%	・県内業者活用、本店等所在地、同一市町村実績、ボランティア、除雪・維持補修、災害出動など、地域貢献に関する項目の中には、得点割合の高いものがある。 ・標準型は、2億円以上の工事が対象で、県外業者の参加が多いため、地域貢献の得点割合が低い。
	本店等所在地(1.5点)	83%	55%	77%	88%	85%	47%	81%	
	同一市町村実績(1点)				82%	78%	51%	77%	
	ボランティア(2点)	65%	46%	61%	64%	76%	48%	69%	
	子育て応援(0.5点)					8%	8%	8%	
	仕事と生活の調和(0.5点)	12%	22%	14%		38%	36%	38%	
	新分野(1点)	16%	32%	20%		26%	28%	26%	
	除雪・維持補修(1点)				66%	71%	31%	65%	
	災害出動(1点)				64%	69%	44%	64%	
	OH20小計(11点)								
施工計画	施工計画(10点)	4.0点	4.0点	4.0点		4.3点	3.9点	4.2点	入札参加者平均得点
	OH20小計(10点)								
標準型	技術提案(10点又は20点)		4.7点 (1項目 10点)	10.2点 (1項目 20点)			3.7点 (1項目 10点)	10.7点 (1項目 20点)	入札参加者平均得点
まとめ	<p>1 公共工事の品質確保を図るため、段階的に対象件数を拡大したい。 併せて、発注手続の事務軽減を図るため、特別簡易型の対象を増やしたい。</p> <p>2 特別簡易型の対象を拡大する場合には、価格以外の要素を適切に評価するため、加算点を高めることとしたい。</p> <p>3 技術力に関する評価項目を追加するとともに、地域の雇用確保や安全安心を担う地元企業を適切に評価するため、地域貢献の評価割合を高め、評価項目や配点の見直しを行いたい。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続教育(CPD)の取り組み状況を評価する。</li> <li>・ 地域貢献については、評価対象地域を見直す。</li> <li>・ ボランティア活動については、地元企業の継続的な活動を評価する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>								